

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公開番号】特開2005-304075(P2005-304075A)
 【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報2005-042
 【出願番号】特願2005-162639(P2005-162639)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/028 (2006.01)
G 0 6 T 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 1/19 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/028 Z
 G 0 6 T 1/00 4 6 0 A
 H 0 4 N 1/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月18日(2005.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が有効画素部と黒基準画素部を備える複数のチャンネルに対応した複数の出力部から信号を出力する光電変換手段と、

被写体画像情報の取得期間外に前記有効画素部及び前記黒基準画素部からそれぞれ出力される第1及び第2の信号と前記被写体画像情報の取得期間内に前記黒基準画素部から出力される第3の信号に基いて、前記被写体画像情報の取得期間内に前記有効画素部から出力される第4の信号を補正するように制御する制御手段と、
 を有することを特徴とする画像入力装置。

【請求項2】

前記第1の信号、前記第2の信号、及び前記第3の信号は、各チャンネルから出力された信号をチャンネル毎に加算平均した信号であることを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項3】

前記光電変換手段の複数のチャンネルからの信号は左右方向に分割して読み出されることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像入力装置。

【請求項4】

前記オフセット補正值の更新を前記被写体画像情報の取得期間外に行うことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像入力装置。

【請求項5】

前記オフセット成分は、前記複数のチャンネルから出力される信号間のレベル差を含むことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像入力装置。

【請求項6】

前記制御手段は、前記第1の信号に基いてオフセット補正值を求めるとともに、前記第2の信号及び前記第3の信号に基いて前記オフセット成分の変動を求め、前記オフセット成分の変動に基いて前記オフセット補正值を更新し、更新した前記オフセット補正值を用

いて前記第4の信号のオフセット成分を補正するように制御することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の画像入力装置。

【請求項7】

原稿を置くための原稿台と、
前記原稿台に置かれた原稿を照明するための照明ランプと、
請求項1乃至6のいずれか1項に記載の画像入力装置と、
前記照明ランプによる照明によって、前記原稿からの反射光を前記画像入力装置の前記光電変換手段に結像するためのレンズとを有することを特徴とする画像入力システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は、上記課題を解決するためになされたもので、請求項1に記載の画像入力装置は、各々が有効画素部と黒基準画素部を備える複数のチャンネルに対応した複数の出力部から信号を出力する光電変換手段と、被写体画像情報の取得期間外に前記有効画素部及び前記黒基準画素部からそれぞれ出力される第1及び第2の信号と前記被写体画像情報の取得期間内に前記黒基準画素部から出力される第3の信号に基いて、前記被写体画像情報の取得期間内に前記有効画素部から出力される第4の信号を補正するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、複数のチャンネルに対応した複数の出力部から信号を出力する光電変換手段を用いて原稿を読取る場合に、各出力部から出力される信号に含まれるオフセット成分が原稿読取り中に変動しても、良好な画像信号を得ることができる。